



# 赤磐

令和7年3月議会 第81号

## 市議会だより



### 赤磐市議会ホームページ



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

ホームページ  
では議会の情報  
や、本会議、委  
員会の中継を配  
信しています。

赤磐市議会

検索

### CONTENTS

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 3月定例会のあらまし .....  | 2P  |
| 委員会のうごき .....     | 6P  |
| 3月臨時会のあらまし .....  | 9P  |
| 13人の議員が一般質問 ..... | 10P |

令和6年度補正予算（一般会計・特別会計他）2億4288万円の増額補正を可決

## 主な内容（歳出）

### 一般会計（3億3518万円増額）（第7・8号）

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業（1億6665万円増額）等

### 国民健康保険特別会計（3932万円増額）（第3号）

### 後期高齢者医療特別会計（2887万円増額）（第3号）

### 介護保険特別会計（1億6020万円減額）（第4号）

### 訪問看護ステーション事業（30万円減額）（第2号）

# 3月定例会のあらまし

## 議案審議

3月定例会を2月4日から2月28日まで25日間の会期で開催した。  
人事案件2件を同意・適任、議案36件を可決、修正案1件を可決。請願2件を不採択とした。  
また、議員発議の決議1件を可決とした。

## 赤磐市農業振興基金条例

**問** 条例の設置目的と積立金の目標額は。  
**答** 就農等支援センターの公社化の準備を進めている。次世代農業技術集積センターは、民間活力を活用して水稻に代わる作目の栽培を推進している。これらの事業を実施するための財源とし、次世代農業技術集積センターの土地貸付料を主な原資として積み立てる。目標額は決めている。

## 赤磐市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

**問** 資格者に対する基準を緩和することが主な改正の目的なのか。どのようにこの条例を考えているのか。災害時の危険性はないのか。  
**答** 国が資格基準の見直しを行い、それに準じて赤磐市の条例を改正する。災害時の対応については非常に危惧している。地元の建設業界等との連携を図り、官民一体で災害時に対応できる体制の確保に努めていく。  
**問** 自治体の職員は3年から5年で部署が替わる。専門家にについて別枠の人事管理ができるように、独自の条例などを設けることができないか。  
**答** 技師の募集はかけているが、応募がなかなかなく、採用ができていない。引き続き職員の確保に向けて頑張っていく。

## 人事案件

次のとおり同意・適任とした。

### 赤磐市教育委員会委員

山本 賢昌

（町苅田）

#### 【任期】

令和7年5月20日

令和11年5月19日

### 人権擁護委員

古矢 道弘

（北佐古田）

#### 【任期】

令和7年7月1日

令和10年6月30日

## 討 論

**議第10号 赤磐市竜天天文台公園条例の一部を改正する条例**

**議第25号 赤磐市吉井竜天オートキャンプ場・赤磐市竜天天文台公園の指定管理者の指定について**

【反対討論】 (1人)

▽竜天天文台公園は社会教育施設であるため、地域の人材育成の拠点ともなり得る施設である。さらに、吉井地域での指定管理施設は地域の人たちが地域の資材を活用して運営している。教育施設として認定されていながら、オートキャンプ場と合わせて民間業者に指定を移すのは不適切だと思う。よって、反対する。

▽指定管理のプロセスに問題がある。指定管理を地元へ委託できなかったこと、教育施設の天文台と、キャンプ場を別の指定管理にできなかったことに問題がある。よって、反対する。

**議第32号 令和7年度赤磐市一般会計予算**

【反対討論】 (2人)

▽松くい虫等防除事業の空中散布の農薬は有機リン系で、世界的にも危険性が指摘されている。一刻も早く空中散布は中止すべきだ。

外国人コーチ招聘は、日本ホッケー協会という大きな組織があるにもかかわらず、市が負担する必要があるのか理解できない。よって、反対する。

▽物価高が止まらず、生活苦が増している。自公政権は施策が遅すぎるし、無策と言っても過言でない。

ない。低所得者やひとり親世帯など、早急に支援しなければならぬ。学校給食費の完全無料化、有機野菜を取り入れる農業施策、補聴器購入費の補助制度創設、高校生の通学補助拡充策、山陽ショッピング跡地・桜が丘中央ショッピング跡地への対策予算など市独自の施策がない。よって、反対する。

**議第33号 令和7年度赤磐市国民健康保険特別会計予算**

【反対討論】 (1人)

▽国民健康保険税はあまりにも高く、払いたくても払えない状況にある。国保は協会けんぽにはない均等割があり、赤ちゃんも国保税を払っている。子育て支援策で18歳までの子供の均等割を免除せよと迫り、国・県・市も未就学児には一部補助を出しているが、18歳まで免除すべきだ。よって、反対する。

## 請 願

**請願第1号 「所得税法第56条の廃止を求める意見書」 提出を求める請願**

【不採択】

【要旨】

日本の税制は、家族従業者の働き分(自家労賃)を必要経費として認めていない。世界の主要国では家族従業者の働き分を必要経費と認めている。国連女性差別撤廃委員会は、「所得税法の見直し」を日本政府に勧告している。

【賛成討論】 (2人)

▽妻や子が事業主から給料をもらっても経費と認めないということは実情に合わなくなっている。白色申告の場合は、車のローンも住宅ローンも組めないし、交通事故の休業補償も低い額になる。所得税法第56条は、家族従業者の経済的自立を妨げている。国会で廃止を決めたら第56条はなくなる。よって、賛成する。

▽日本の税制は、中低所得者層に重く課税するようになっている。所得税法第56条の廃止は、この日本の税制に突破口を開くもので、全労働者の利益につながる。よって、賛成する。

**請願第2号 「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」 採択を求める請願**

【不採択】

【要旨】

日本経済の回復を進めるためには、最低賃金の抜本的改善による賃金の底上げが必要だ。日本の最低賃金は地域別制度であり、高い地域は低い地域を考慮し決められるため、賃金引上げを妨げる構造的欠陥がある。世界の最低賃金制は全国一律制が主流だ。

【賛成討論】 (3人)

▽非正規雇用労働者の増加に伴い、貧困格差の拡大が鮮明になっている。日本は長年3ランクに分けた最低賃金制を取ってきたため地域間格差が解消できないほど大きくなっている。よって、賛成する。

▽地域別制度である限り、人口の一極集中、若者の都市部への流出は止められない。未来の若者にとって最低賃金全国一律制への法改正は重要だ。

よって、賛成する。

▽日本がこれだけ豊かになったのに今でも日々の生活に困っている人、食事も満足に取れない子供たちがいる。普通の生活ができる賃金を支払うのは事業家の社会的使命であり、これ以下では雇用してはならないという最低賃金を国が決める必要がある。最低賃金の引き上げがあれば、貧困対策費の縮小も期待できる。よって、賛成する。

● 動議 ●

議第27号 令和6年度赤磐市一般会計補正予算  
(第8号) に対する修正動議 【可決】

新拠点整備に係る予算の繰越明許費について  
修正を行うもので、繰越明許費補正のうち道路  
改良事業費1億4095万円を削除するもの。

【賛成討論】

(4人)

▽民間業者のための道路に公金を使おうとしている執行部の暴走に対して、議会は監視を責務としている以上、この予算は認められない。よって、賛成する。

▽修正案が通った場合を想定して討論する。新拠点整備については肅々と進めてもらいたい。再議または臨時議会で説明不足を解消し、議会、執行部両輪で真つすぐ前に進めるようにしてもらいたい。よって、賛成する。

▽世話をするコンサルの概要を示さない。契約者も示さない。環境整備の内容も示さない。その中で事業が進んでいくことはあり得ない。よって、

賛成する。

▽新拠点の事業はみんなが前に進めてほしいと思っている。しかし、市民と話をする機会があり、不透明な部分を心配している。ここで、いったんストップをかけて不透明感を取り除いてほしい。修正動議は一度立ち止まろうというもの。よって、賛成する。

【反対討論】

(3人)

▽対象となっている道路予算そのものは既に認められており、その執行を翌年度へ繰り越すのを認めるだけで、予算を増額するものではない。一度承認された予算の執行を事実上認めないという本修正動議は、執行権の侵害ともいえ、議会の守備範囲を超えている。修正動議が承認されれば、赤磐市の最重要事業である新拠点開発は頓挫しかねない。今まで投じてきた予算、職員の苦勞、議会での議論が無駄になる。よって、反対する。

▽既に民間企業とは工事契約をしている。この修正案を通したら赤磐市議会自体が信用されなくなる。そこは議会内、委員会内で解決する問題であって、それを民間の企業の責任にするのは全くおかしい話。コストコ、ナカシマに気持ちよく来てもらうため修正案に反対する。

▽予算の中には道の駅の整備や公共の道路もある。これを民間に全部任せたらどんな道路になるか。市が率先して計画的に道路は整備してそこに民間が来るべきだと思う。よって、反対する。

6月議会の日程

| 日    | 月             | 火             | 水             | 木             | 金                           | 土    |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------------------|------|
| 6/1  | 6/2           | 6/3           | 6/4           | 6/5           | 6/6                         | 6/7  |
|      |               |               |               | 本会議<br>(議案上程) |                             |      |
| 6/8  | 6/9           | 6/10          | 6/11          | 6/12          | 6/13                        | 6/14 |
|      | 本会議<br>(一般質問) | 本会議<br>(一般質問) | 本会議<br>(一般質問) |               | 本会議<br>(質疑・委員会付託)           |      |
| 6/15 | 6/16          | 6/17          | 6/18          | 6/19          | 6/20                        | 6/21 |
|      | 厚生文教<br>常任委員会 | 産業建設<br>常任委員会 | 総務<br>常任委員会   |               |                             |      |
| 6/22 | 6/23          | 6/24          | 6/25          | 6/26          | 6/27                        | 6/28 |
|      | 予算<br>常任委員会   |               |               |               | 本会議<br>(委員長報告・質疑・<br>討論・採決) |      |

● 発議 ●

発議第1号 令和6年度一般会計のうち新拠点  
整備事業の予算執行の留保を求める決議

【可決】

【要旨】

一般会計予算には道路改良事業をはじめ、新拠点整備事業の予算が計上されている。現状のまま事業執行するには、議会、市民の理解を得ることができないと判断し、相互理解ができるまでの間、事業執行を留保するよう求めるものである。

令和7年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果

| 議案番号      | 案 件                                                             | 議決結果 | 牛尾直人 | 鼻岡美保 | 安藤利博 | 永徳省二 | 大森進次 | 光成良充 | 保田 守 | 大口浩志 | 治徳義明 | 原田素代 | 金谷文則 | 松田 勲 | 福木京子 | 佐藤武文 | 下山哲司 | 実盛祥五 | 佐藤 武 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 議 第 5 号   | 赤磐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 | 可決   | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | 欠席   | —    |
| 議第10号     | 赤磐市竜天天文台公園条例の一部を改正する条例                                          | 可決   | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | 欠席   | —    |
| 議第25号     | 赤磐市吉井竜天オートキャンプ場・赤磐市竜天天文台公園の指定管理者の指定について                         | 可決   | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | 欠席   | —    |
| 議第27号（修正） | 令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）                                           | 可決   | ●    | ○    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | 欠席   | —    |
| 議第32号     | 令和7年度赤磐市一般会計予算                                                  | 可決   | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | 欠席   | —    |
| 議第33号     | 令和7年度赤磐市国民健康保険特別会計予算                                            | 可決   | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | 欠席   | —    |
| 請願第1号     | 「所得税法第56条の廃止を求める意見書」提出を求める請願                                    | 不採択  | ●    | ○    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ○    | ●    | ●    | 欠席   | —    |
| 請願第2号     | 「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願                                 | 不採択  | ●    | ○    | ○    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    | ●    | ●    | ●    | ●    | ○    | ●    | ●    | 欠席   | —    |
| 発議第1号     | 令和6年度一般会計予算のうち新拠点整備事業の予算執行の留保を求める決議                             | 可決   | ●    | ○    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ○    | 欠席   | —    |

○＝賛成 ●＝不賛成  
※佐藤武議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

| 議案番号  | 案 件                          | 議決結果 |
|-------|------------------------------|------|
| 同意第1号 | 赤磐市教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて | 同意   |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて  | 適任   |

| 議案番号    | 案 件                   | 議決結果 |
|---------|-----------------------|------|
| 議 第 1 号 | 令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第7号） | 可決   |

※下記に記載する議案については、欠席議員を除き全会一致で可決しています。

| 議案番号    | 案 件                                                  | 議決結果 |
|---------|------------------------------------------------------|------|
| 議 第 2 号 | 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例                     | 可決   |
| 議 第 7 号 | 赤磐市特別会計条例の一部を改正する条例                                  | 可決   |
| 議 第 8 号 | 赤磐市スマートコミュニティ基金条例を廃止する条例                             | 可決   |
| 議第11号   | 赤磐市立保育所条例の一部を改正する条例                                  | 可決   |
| 議第12号   | 赤磐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例             | 可決   |
| 議第13号   | 赤磐市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例                      | 可決   |
| 議第14号   | 赤磐市老人憩の家条例の一部を改正する条例                                 | 可決   |
| 議第15号   | 赤磐市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例                           | 可決   |
| 議第16号   | 赤磐市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例        | 可決   |
| 議第18号   | 赤磐市地球温暖化対策基金条例                                       | 可決   |
| 議第19号   | 赤磐市農業振興基金条例                                          | 可決   |
| 議第20号   | 赤磐市開発事業の調整に関する条例の一部を改正する条例                           | 可決   |
| 議第21号   | 赤磐市下水道条例の一部を改正する条例                                   | 可決   |
| 議第22号   | 赤磐市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例 | 可決   |

| 議案番号          | 案 件                               | 議決結果 |
|---------------|-----------------------------------|------|
| 議第23号         | 田原用水組合規約の変更について                   | 可決   |
| 議第24号         | 赤磐市吉井ライスセンターの指定管理者の指定について         | 可決   |
| 議第26号         | 市道路線の変更について                       | 可決   |
| 議第27号（修正除く原案） | 令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）             | 可決   |
| 議第28号         | 令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）       | 可決   |
| 議第29号         | 令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）      | 可決   |
| 議第30号         | 令和6年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第4号）         | 可決   |
| 議第31号         | 令和6年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算（第2号） | 可決   |
| 議第34号         | 令和7年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算             | 可決   |
| 議第35号         | 令和7年度赤磐市介護保険特別会計予算                | 可決   |
| 議第36号         | 令和7年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算        | 可決   |
| 議第37号         | 令和7年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算             | 可決   |
| 議第38号         | 令和7年度赤磐市財産区特別会計予算                 | 可決   |
| 議第39号         | 令和7年度赤磐市水道事業会計予算                  | 可決   |
| 議第40号         | 令和7年度赤磐市下水道事業会計予算                 | 可決   |
| 議第41号         | 財産の取得について                         | 可決   |
| 議第42号         | 周匝保育園新築工事請負契約の締結について              | 可決   |

## 総務 常任委員会

2月17日に総務常任委員会を行った。議案1件、請願1件について審査した。

**刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例**

**問** 今回の改正となる懲役、禁錮と拘禁刑の違い、また、改正に至った背景は何か。

**答** 今回の改正は懲役、禁錮の刑罰を一本化し、拘禁刑にしたものである。懲役受刑者は刑務作業が義務化されており、禁錮受刑者は刑務作業が義務化されておらず任意で行っている。実態として、懲役と禁錮の差がなく

なってきたっており、懲役受刑者が高齢で刑務作業が行えないといった実情もある。今後は受刑者の特性に応じた更生プログラムが行われるように拘禁刑が創設された。

**請願第1号「所得税法第56条の廃止を求める意見書」提出を求める請願**

主な意見

- ・国も青色申告で経費にできると推奨しており、請願内容についてすぐに結論を出すのも難しいが、反対する。

- ・青色申告ですれば済むと思うので、反対する。



はじめませんか？青色申告

## 厚生文教 常任委員会

2月18日に厚生文教常任委員会を行った。議案9件について審査した。

**赤磐市竜天天文台公園条例の一部を改正する条例**

**問** この改正で教育委員会の施設から変わることに不安を感じるが、どのように考えているのか。



赤磐市竜天天文台公園

**答** 竜天天文台公園の管理は市長部局に移るが、今後も教育に関する施設として使用していきたいと考えている。

**赤磐市老人憩の家条例の一部を改正する条例**

**問** 今まで使用料も冷暖房使用料も無料だったが変わったということか。

**答** どちらも無料であったが、冷暖房使用料については公民館、桜が丘いきいき交流センターでは一部負担してもらっている。他の施設と同様に冷暖房使用料を徴収するよう考えている。

**赤磐市心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例**

**問** 市の条例と、県の公費負担制度との整合性をとるために心身の字句を削るのはなぜか。

**答** 県の心身障害者医

療費公費負担制度が、対象拡大により身体・知的・精神障害のすべてを網羅する形になる。それに伴い心身を題目につける必要がなくなったため削除する。

**赤磐市地球温暖化対策基金条例**

**問** この基金の使用目的は。

**答** 赤磐市地球温暖化対策実行計画に基づいて、赤磐市における再生可能エネルギーの導入及び省エネの推進等、地球温暖化の防止を図るため基金を創設するもので、これらの施策を実施するための財源として充当する。

## 産業建設 常任委員会

2月19日に産業建設常任委員会を行った。議案10件、請願1件について審査した。

### 赤磐市下水道条例の一部を改正する条例

**問** 下水道指定工事店の営業所ごとの排水設備工事責任者が専任から兼任に変わるのにはなぜか。

**答** 人材不足が顕著であり、民間の工事店においては専任配置が厳しい状況となっている。技術者が減少しており、今後この傾向が続くと考えている。この基準はアナログ時代のものであり、現在はデジタル化も進んでいるので、兼任となっ

てもポテンシャルは落ちないと国で判断したと聞いている。

### 赤磐市吉井ライセンサーターの指定管理者の指定について

**問** 令和5年度の利用状況が25戸という説明があつたが、利用状況の推移は。

**答** 令和4年度が26戸、令和6年度が25戸であり、ほぼ、毎年同じ人が利用している。

### 赤磐市吉井竜天オートキャンプ場・赤磐市竜天文台公園の指定管理の指定について

**問** 2つの施設を指定管理するにあたって、この指定管理者がどのようなコンセプトでやっていくのか。

**答** 指定管理者の(株)ワールドインテックは、美作市の雲海の指定管理も受けている。同社が管理している施

設とも連携し、また竜天文台公園と竜天オートキャンプ場を連動させながら、集客に努めたいと聞いている。



赤磐市吉井竜天オートキャンプ場

### 請願第2号「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願

#### 主な意見

・岡山県内では時給1300円がぎりぎりという声を聞いている。47都道府県で経

済格差もあり、時給1500円は現状ではちよつと無理ではないかと思うので、賛成できない。

・現時点では課題や問題点がたくさんあると思う。都市部と地方では物価や生活費が違つたため、一律の最低賃金を設定すると、地方の企業負担が増大し、倒産や雇用減少のリスクが高まることも考えられるので、反対する。

・国が音頭を取って一律の賃金にして、地方の零細業者でも同じ活動ができるようにやっていってほしいので、賛成する。

・この問題は本当に切実で、経済の基本として最低賃金全国一律制は本当に求められることだと思うので、賛成する。

## 予算 常任委員会

2月21日、2月25日の2日間、予算常任委員会を行った。議案14件について審査した。

### 補正予算

### 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を149万円増額

**問** 物価高騰の中で国の交付金だけでなく、市として何らかの施策を考えているか。

**答** 物価高騰対応として学校等の電気代の高騰分に315万円を増額、定額減税補足給付金の執行残166万円を減額した。次年度以降もどのような使い方をするか検討している。

### 学校給食費等支援補助金を1980万円減額

**問** 第3子以降給食費等補助金が1980万円も減額されているがなぜか。

**答** 事業費が確定したことによる減額であるが、初めての試みで予算に余裕をみて計上していた。

### 生活保護扶助費を4千万円増額

**問** 生活保護扶助費が4千万円増額しているがなぜか。

**答** 生活保護の人の医療費が、請求月によって振れ幅が大きい状況があり、今年度不足すると見込まれたため増額するものである。

# 令和7年度当初予算381億6,141万8千円を可決

| 会 計 名         | 令和7年度予算(A)    | 令和6年度予算(B)    | 増減(A)-(B)    |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 一 般 会 計       | 222億8,499万4千円 | 218億1,239万5千円 | 4億7,259万9千円  |
| 特 別 会 計       | 110億2,117万4千円 | 111億6,463万4千円 | ▲1億4,346万 円  |
| 国 民 健 康 保 険   | 55億5,969万 円   | 56億8,122万3千円  | ▲1億2,153万3千円 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 | 8億9,317万7千円   | 8億2,513万 円    | 6,804万7千円    |
| 介 護 保 険       | 44億6,510万1千円  | 45億3,248万9千円  | ▲ 6,738万8千円  |
| 訪問看護ステーション事業  | 5,448万8千円     | 5,215万 円      | 233万8千円      |
| 宅 地 等 開 発 事 業 | 4,284万7千円     | 4,284万7千円     | 0円           |
| 竜天オートキャンプ場    | 廃止            | 2,384万3千円     | ▲ 2,384万3千円  |
| 財 産 区         | 587万1千円       | 695万2千円       | ▲ 108万1千円    |
| 公 営 企 業 会 計   | 48億5,525万 円   | 49億3,405万2千円  | ▲ 7,880万2千円  |
| 水 道 事 業       | 15億5,248万7千円  | 17億1,202万7千円  | ▲1億5,954万 円  |
| 下 水 道 事 業     | 33億 276万3千円   | 32億2,202万5千円  | ▲ 8,073万8千円  |
| 合 計           | 381億6,141万8千円 | 379億1,108万1千円 | 2億5,033万7千円  |

3月定例会のあらまし

委員会のうごき

いっぱい質問

その他協議会等

## 企画関係事業に489万円計上

**問** 山陽団地の活性化等の企画関係事業費が減額になっているが。

**答** 骨格予算で最低限の経費を計上している。有識者会議の開催費用、令和4年度から実施しているひかりの実の事業費は計上している。



ひかりの実プロジェクト

## 消費生活推進事業に826万円計上

**問** 特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助金は令和6年度で終了ではないのか。新しい対応をするのか。

**答** 令和6年度で終了予定であったが、特殊詐欺が近年非常に増えており、継続見込みで予算計上している。

## 自治体DX推進事業に2億9950万円計上

**問** 自治体DXを推進するための予算が大幅に増えているが、内容的にはどうなるのか。

**答** 自治体を持つ住民情報を国が定めるシステムに合わせる標準化を進めている。令和7年度が最終年度である。

## 児童手当に10億7043万円計上

**問** 児童手当が昨年から国の施策で変わっているが、第3子というのは、上の子が大学を卒業するまでは、3番目の子が第3子という扱いなのか。

**答** 大学生までが一人目と数えられる制度となっている。

**問** 上の子が就職しても第3子扱いということなのか。

**答** 上の子が就職して自立している場合、親が養育や経済的負担をしていない場合は外すことがある。

## 敬老会助成金に1910万円計上

**問** 敬老会助成金のシステムはどのように運営をしているのか。

**答** 令和7年度の予算について、令和6年度と同様に75歳以上の高齢者一人当たり2千円で計上した。

## 岡山県地域医療介護総合確保基金事業費補助金に1億8180万円計上

**問** 介護施設等整備という約1億8千万円の予算が組まれているが、この内容は。

**答** 第9期の介護保険事業計画の中で、山陽地域に「地域密着型特

定施設入居者生活介護」の事業所整備に補助金を充てる。

## 緊急通報システム事業に374万円計上

**問** 備品購入費で37万円とあるが、何台予定しているのか。

**答** 7台分を見込んでいる。

**問** 現在131台とあるが、今までの累計ではなく、今使われている台数が131台ということか。

**答** 8月時点で設置している台数になる。

## 障害者給付事業に5470万円計上

**問** なぜ1千万円減額なのか。

**答** 例年、医療費の請求額の振れ幅が非常に大きく、前年度実績等で試算した結果、減額になった。

高等学校等通学費補助事業に433万円計上

**問** 多くの学生は岡山市や周辺に通っているのですが、もっと子育て支援策として取り組むべきだと思う。制度設計が何年もかかっているが検討はもうなっているのか。

**答** 財源の関係もあるので、通学方法の把握、財源の確保などを含めて検討をしていきたい。

生徒指導総合実践事業に2163万円計上

**問** 前年度に比べて約450万円上がっているが、これは単に人件費の増額なのか。

**答** 増額分については、人件費の増額もあるが、新たに学校相談アドバイザーを配置して、学校から上がってくるさまざまな生徒指導上の問題に対応でき

るように配置するためである。

史跡保存整備事業に455万円計上

**問** 国指定史跡備前国分寺跡について、隣接する国指定史跡両宮山古墳や周辺地域も含めて一体的に整備、歴史公園にするといった取り組みはしないのか。

**答** 来年度から備前国分寺の僧房跡の整備に入っていく予定である。歴史公園には及んでいないが、少しずつ整備をしていきたいと考えている。

浄化槽整備補助事業に2220万円計上

**問** 単市分（207万円）の説明を。

**答** 単市分については、下水道区域において3年以内に整備するエリアで浄化槽を設置する人に対しての補助である。

松くい虫等防除事業に2529万円計上

**問** 193万円減額しているがなぜか。

**答** 松くい虫特別防除事業の委託料で、前年の面積から20ヘクタールほど減少しており、減額となっている。

**問** 20ヘクタールはこのエリアか。

**答** 平山地区である。

観光振興対策事業に1005万円計上

**問** 前年度に比べて半額になっている。花火大会、あかいわ祭り、またワインフェスはやるのか、やらないのか。

**答** イベント関連の予算は、やるかやらないかも含めて検討している。

## 令和6年度一般会計補正予算（第9号）を可決

### 主な内容

3月議会定例会において、修正可決された令和6年度一般会計補正予算（第8号）の繰越明許費補正のうち、道路改良事業で既に実施中で、年度内に完了が見込めないものに関する事業費のみが提出された。

3月臨時会のあらまし

議案審議

### 令和7年3月第2回赤磐市議会臨時会審議結果

| 議案番号  | 案 件                   | 議決結果 | 牛尾直人 | 鼻岡美保 | 安藤利博 | 永徳省二 | 大森進次 | 光成良充 | 保田 守 | 大口浩志 | 治徳義明 | 原田素代 | 金谷文則 | 松田 勲 | 福木京子 | 佐藤武文 | 下山哲司 | 実盛祥五 | 佐藤 武 |
|-------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 議第43号 | 令和6年度赤磐市一般会計補正予算(第9号) | 可決   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 退席   | ●    | ●    | ○    | ●    | ●    | ○    | ●    | ●    | ●    | 欠席   | ○    |

○＝賛成 ●＝不賛成

※佐藤武議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※議第43号については可否同数であったため、議長において可否の裁決を行ったものです。

3月臨時会を3月12日、1日の会期で開催した。  
議案1件を可決した。

# 一般質問



## 市の考えを問う

13人の議員が登壇し市の考えをたきました。  
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

| 質問議員                                                                                                                      | 質問事項                                                                                   | 質問議員                   | 質問事項                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安藤 利博<br>11ページ                                                                                                            | ・質問に対する検討経過、結果は<br>・公共施設の維持管理について                                                      | 福木 京子<br>14ページ         | ・物価対策について<br>・国保の18歳までの均等割の免除について<br>・補聴器購入補助制度の創設について<br>・山陽団地の県営住宅対策について<br>・新拠点地域の開発について                                             |
| 永徳 省二<br>11ページ                                                                                                            | ・市長の公約について<br>・何もないまち赤磐市について<br>・新拠点へのL R T延伸について                                      | 大口 浩志<br>14ページ         | ・窓口サービスについて<br>・防災について<br>・働き方改革について<br>・公共交通について<br>・農業の今後について                                                                         |
| 光成 良充<br>12ページ                                                                                                            | ・児童・生徒の通学路の安全について<br>・桜が丘駐在所の現状<br>・子ども家庭センターの設置について                                   | 治徳 義明<br>15ページ         | ・農業機械更新問題について<br>・防災・減災対策について<br>・新拠点周辺の通学路の安全対策について<br>・聴覚補助器の助成制度の拡充について                                                              |
| 松田 勲<br>12ページ                                                                                                             | ・新拠点整備の今後の流れについて<br>・県立普通科高校の学区制の見直しについて<br>・市内中学校の選択制の一部見直しについて                       | 下山 哲司<br>※本人の意向により掲載なし | ・市の行政について<br>・コストコ及び道の駅について                                                                                                             |
| 大森 進次<br>13ページ                                                                                                            | ・市職員の働き方改革について<br>・物価高騰に困っている町内会支援について<br>・学校施設整備の進捗について<br>・市発注工事の平準化について<br>・市政を振り返り | 原田 素代<br>15ページ         | ・長尾方式の真実<br>・開発区域の道路<br>・公共交通政策                                                                                                         |
| 金谷 文則<br>13ページ                                                                                                            | ・河本岩田地区の事業に関係する赤磐市の諸問題について<br>・赤坂地区、小学校が統合されたのちの各地区の地域づくりについて                          | 鼻岡 美保<br>16ページ         | ・高校生への通学費補助<br>・介護保険の訪問介護事業、赤磐市の現状<br>・桜が丘中央地域の再開発に向けての現状は                                                                              |
| <b>表紙の一言</b><br>新しい議会がスタート<br>赤磐市議会議員選挙が3月23日に行われ、4月17日から新しい市議会議員の任期がスタートしました。<br>18・19ページに議会の新しい構成を掲載していますので、あわせてご覧ください。 |                                                                                        | 佐藤 武文<br>16ページ         | ・最終処分地ができなかった理由はなぜなのか<br>・斎場は赤磐市に必要な施設ではないか<br>・消防職員の増員を行うべきではないか<br>・中間管理機構の役割は何であるのか<br>・長尾方式の言葉の意味が全く理解できない<br>・赤磐市にサッカー場の整備は必要ではないか |



安藤利博議員

## 質問に対する 検討経過、結果は



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 行政計画を一覧で  
きるホームページ作成  
の検討経過、結果は。

**答** 第3次総合計画の  
策定に合わせ、一覧性  
のある形でのホーム  
ページ掲載を行う予定  
である。

**問** 移動期日前投票所  
について、総務省は積  
極的に取り組むよう促  
している。選挙は毎年  
1回以上ある計算にな  
る。投票機会維持・確  
保のために恒久的な制  
度として考えないか。

**答** 投票率向上のため、引き続き検討する。

**問** 桜が丘中央を民間  
の店舗跡地と一体的に  
再開発し、ランドマー  
クとなる再開発ビジョ  
ンを示すべき。桜が丘  
交番の建設場所は、他  
のプランとの整合性を  
持たせてやるべきでは。

**答** 再開発計画は今後  
の検討状況に応じて協  
議を行う。交番は警察  
が桜が丘プラザ前を適  
地として、関係機関と  
調整し候補地として調  
査をしている。

**問** 500人以上を収  
容できる文化ホール建  
設は、自治連合会から  
の毎年の行政要望事  
項。4万人の赤磐市民  
を対象にしたイベント  
ができる市民会館は未  
来永劫必要なののか。

**答** 必要な施設という  
認識はあるが、財政的  
にも早期新設は困難で  
ある。

**問** 小中学校までは特  
別支援学級や通級指導  
教室があるが、中学校  
を卒業すれば頼れるの  
は通信制高校だけ。空  
き教室を使えば建設費  
はかからない。赤磐市

立の通信制高校を開設  
しないか。

**答** 県内に多くの私立  
通信制高校がある中で、  
公立である必要性も含  
めて慎重に検討したい。

**問** 備前国分寺跡を、  
西宮山古墳周辺地域を  
含めて歴史公園等に整  
備しないか。

**答** 観光資源としての  
利活用については整備  
状況を見ながら検討す  
る。



備前国分寺跡と両宮山古墳

**問** 12年前の公約は、  
どうなったのか。

**答** 早期の実現は難し  
い状況だが、継続した  
要望が重要。引き続き、  
粘り強くお願いし、努  
力を続けていく。

**問** 高校と警察署の要  
望書はいつ・誰が・誰  
に出したのか。

**答** 高校誘致の要望書  
は、令和元年10月に市  
長名で県教育委員会に  
提出。警察署の要望は、  
自治連合会から県知事  
に提出している。

**問** 6年間も要望書を  
出していない。やる気  
がないのではないのか。  
警察署に関しては、い  
つ出したのか。

**答** 県立高校誘致の要  
望書をしばらく出して  
いないことに反省す  
る。警察署に関し正確  
な日時は答えられない。



永徳省二議員

## 高校・警察署誘致をしないのは 公約違反ではないか



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

何もないまち赤磐市  
について

**問** 合併して20年経つ  
が、県立高校・市立高  
校・警察署・最終処分  
場・火葬場・市民ホー  
ル・公共墓地・郵便本  
局・市民病院・税務署。  
これらの重要な施設が  
市内に何一つない。こ  
れらの施設に市長が重  
要度の優先順位を付け  
るとしたら。

**答** 最終処分場・火葬場・  
公共墓地・市立高校な  
ど一切ない。市長がや  
る気になったら全てで  
きる話だ。

**問** 合併して20年経  
たが、それが前に  
向いていない。慎重に  
やらざるを得ない。

**答** どれも重要でどれ  
が劣後するのか、一概  
に判断することは困難。  
**問** 市のリーダーがこ  
ういう優先順位を付け  
られないこと自体、  
リーダーとして失格。  
どうやって予算を付け  
るのか。合併して20年  
経過、友賀市長が半分  
以上の12年間市長とし  
て在任。市民ホール・

| 都道府県 | 市名      | 人口     | 県立高校 | 市民ホール<br>(収容人数) | 市民ホールの名称  |
|------|---------|--------|------|-----------------|-----------|
| 1    | 熊本県 合志市 | 85,159 | なし   | 602             | 文化ホール     |
| 2    | 岐阜県 瑞穂市 | 58,283 | なし   | 670             | サンシャインホール |
| 3    | 沖縄県 豊城市 | 49,919 | なし   | 510             | ジュガーホール   |
| 4    | 岡山県 赤磐市 | 42,433 | なし   | なし              | —         |

中・西国地方、近畿地方の16府13県の中で唯一、市内に県立高校のない市(赤磐市)

県立高校のない市と市民ホールの表



光成良充議員

## 桜が丘中央交差点の 市道側に右折信号機を



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 県道側には右折信号機は設置ができて

いるが、市道側には右折車線だけである。

中学生の通学路にある交差点でもあり、通学路の安全を担保するためにも右折信号機の設置は必要と思うが。

**答** 交差点の信号機は県警が何回も調整をしている。右折時の状況は、1回信号を待てば通過できる程度の滞留であるため、通行者には安全に交差点を通行してもらおうようお願いし、再度、警察と細か

か。

**答** 危険と考えられる箇所は、現地で点検、確認を行っている。

**問** 市役所前の通学路は歩道がないが、設置は考えられないか。

**答** 交通安全プログラムで歩道を設置する区間と位置づけ、市役所側に歩道を設置する計画をしている。用地買収等が必要な区間があり、地権者へ交渉・説明し了解を得て設計・工事に入っていく。

### 桜が丘駐在所の交番化

**問** 昨年、桜が丘と可

**問** 市では通学路で痛ましい事故が発生した。通学路は安全で安心なものであるべきだが、市内の通学路はどう改善がされているの

**答** 桜が丘プラザ前の市有地を適地と考え、測量設計等を行い、最終調整に入っている。



市役所前の通学の様子

市は関係機関と情報を共有し積極的に協力し、早期の実現に向けて推進していく。

### こども家庭センターの設置について

**問** りんくステーションとの連携は。

**答** りんくステーションとこども家庭センターの2枚看板でいろいろな人を支えていく。

**問** 道の駅をはじめとする産業振興ゾーン等は、どのように進めていくのか。一日も早く形になるよう進めていくべきではないか。

**答** 令和6年12月20日に、市街化区域編入を含む都市計画が決定し、開発が可能となった。目標としては、用地取得後2年ないし3年で開業を目指す。

産業振興・にぎわい交流ゾーンの2社は最終決定に向けて立地を前向きに検討している。

### 県立普通科高校の学区制の見直しを

**問** 市は現在も東備学区になっているため、岡山学区の普通科を受験するには定員の5%枠にまず入らないといけなく、狭き門である。



松田 勲議員

## 新拠点整備の完成は いつ頃を目標に



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

学区制は、全国的にも廃止されている。県へ強く要望していくべきではないか。

**答** 子供たちの進路選択肢を増やすために、隣接する岡山学区の5%枠の早期廃止はぜひとも必要と考えている。他市に先駆けて学区制を弾力的に運用してもらうことも含め、引き続き強く要望をしていく。

### 市内中学校の選択制の緩和を

**問** 市内の学区選択制が始まり、桜が丘東地域は大きく変わった。しかし、桜が丘西地域から磐梨中学校など他の中学校へ行きたい子供もいる。

中学校の選択制については、岡山市のよう

に学区外からの受け入れ枠を設けるなど、子供たちの選択肢を増やすべきではないか。

**答** 部活動については、教育的配慮ということで、部活動がある中学校へ行くことができる。今後、教育委員会の方でしっかりと、前向きに検討していく。



新拠点整備予定地



大森進次議員

## 市職員の働き方改革



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** ノー残業、休暇の奨励策が講じられているが、ワーク・ライフ・バランスは実現できているのか。

**答** 年次有給休暇の平均取得日数や男性職員の育児休暇取得率など目標値を定め、取り組んでいる。

**問** 物価高騰で町内会活動費が増加し、住民負担が増えて困っている。新たな支援制度が必要では。

**答** 新たな支援を行う予定はないが、相談しながら打開策を見つきたい。

**問** 学校施設整備の進捗。緊急性を見極め、早期に対応するとあつ

たが進捗がうかがえない。現状と完成はいつなのか。

**答** 順次、設計業務・工事発注をしている。完成時期についても、できるだけ早期に完成を目指している。

**市発注工事の平準化**

**問** 年度末に工期が集中し、建設業者が繁忙期となり対応してもらえない。工事発注は平準化の取り組みが必要では。

**答** 10月以降の工事が増加傾向なのは否めない。今まで以上に発注及び施工時期の平準化を目指す。

### 市政を振り返り

**問** 友實市長は3期12年を振り返り、自身をどう評価するのか。



学校施設（高陽中学校）整備の工事現場

**問** 道の駅や企業誘致を進める中で、問題点が数々指摘されてお

り、市民が大変不安がっている。そのことについてどのように考えているか。市内全域、均衡が取れた発展が大切だと思うがどうか。

**答** 新拠点における道の駅を含む公共ゾーンの整備、誘致活動を行っている企業の進出に伴い不安を感じることに對しては、所管の委員会をはじめ議会や市民に丁寧に説明をしていきたいと思う。各支所を核に検討する。

**問** 新拠点整備事業は、コストコだけでは

ない。「市全体を発展させるから、大きな予算を使ってもメリットがあるためやる」と理解してよいか。

**答** にぎわいや雇用の創出が全市に影響を及ぼすと考える。

**問** コストコの話だけになつていますが、他はどのようなことをやるのか話が全くない。

**答** 市民は交通渋滞を一番不安に思っている。道を一本付けるから大丈夫とは思わない。コストコへ来る客だけに道が必要だというのは間違っている。一般住民生活については、どのように考えるか。

**答** コストコは、開業直後の混雑や渋滞の報道はあるが、高速道路を使う客が多いので、バイパス的な市道の設置を考えている。

**問** 赤坂地域の小学校が統合された後の地域づくりについて、どのように考えるか。学校



伝統の獅子舞継承に取り組む笹岡地区



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。



福木京子議員

## 市独自の物価対策をすべき



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

**問** ①低所得者・ひとり親家庭への支援は。

②学校給食費の完全無償化は。③医療や福祉、

中小企業への支援は。

**答** ①住民税非課税世帯、その子供を対象に

国の給付金事業を実施。②小中学生に1学期分の給食費を全額無償、2学期以降は継続

に向けて検討する。③

国・県の情報を注視しながら支援を検討していく。

**国保の18歳までの均等割の免除を**

**問** 高い国保税を引き

下げるために子供の均等割を18歳まで免除すべき。子育て支援策として重要な施策だ。

**答** 市単独の施策としては大変厳しい。現在、国保の県内統一という

動きが始まっている。

財源充実に市独自でなく国・県の負担を求めていくのが望ましい。

**補聴器購入補助制度の創設を**

**問** 近隣自治体も補助

制度を始め、岡山市が昨年8月から始めている。高齢者に安心の施策として実施をすべきではないか。

**答** 他市町の仕組みづくりを参考に制度の効果や課題を検証し創設に向けて検討していく。

**県営住宅対策を**

**問** 市の住宅施策はな

く県に任せっぱなしである。県住に若者を呼ぶ施策に家賃補助や風呂の設置費用補助などすべきではないか。

**答** 県に対し有効な施

策を検討してもらうよう働きかける。

**新拠点開発について**

**問** 新拠点開発は大型

事業である。時間をかけてきめ細かく説明会を。まちづくりについても意見を聞くべきだ。

**答** 今後必要なタイミングで説明会をする。



山陽団地の県営住宅風景

**窓口サービスについて**

**問** 待ち時間短縮の取

り組みは。

**答** 各種取り組みを行っているが、より便利で快適なサービスができるよう今後も努める。

**防災について**

**問** 防災士の資格取得

補助に年齢制限は。

**答** 年齢制限はない。

**問** 中学生・高校生への資格取得の奨励は。

**答** 中学生にPRするのは有効と考える。

**問** ガソリン満タン運動の推奨は。

**答** ささまざまな場面でPRしていく。

**働き方改革について**

**問** 職員の採用計画を

補完するために、独自



大口浩志議員

## 公共交通・生活圏に基づいた運行は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

の取り組みはあるか。

**答** 今は特別な取り組みはない。

**問** 人材の確保がしんどい時代がすぐそこま

で来ているのでは。

**答** より働きやすい環境を整えるにはどうすべきか、というところは、しっかり考えていく。

**問** 期待しているのか。

**答** 有言実行で臨む。

**公共交通について**

**問** 新たな視点での取

り組みは。

**答** 市民ニーズは市

内、旧町内に限定され

るものではないので、

エリアをまたぐ運行形

態も検討していく。



満タン&灯油プラス1缶運動

**農業の今後について**

**問** 「機械が壊れたからやめた」がないようにできないか。

**答** 現行の施策や補助制度の運用見直しを図る必要がある。離農する人と必要な人との情報共有も考えていく。



治徳義明議員

## 新拠点周辺の通学路の 安全対策は最重要課題



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 新拠点構想は、持

続可能な赤磐市構築の  
ためには必ず成し遂げ  
なければならぬプロ  
ジェクトであるが、懸  
念される課題も多くあ  
る。新拠点周辺の通学  
路の安全対策は、交通  
渋滞問題とともに最重  
要課題である。

**答** 児童・生徒の登下  
校の安全対策を徹底す  
る。

**問** 特に、隣接する旧  
道（馬屋下市線）の通  
学路は歩道整備が必要  
である。

**答** 交通安全プログラ  
ムの下、令和8年度ま  
でに整備する。

### 防災・減災対策

**問** ①赤磐版防災アプ  
リの導入は。②大規模  
災害に備えての簡易ト  
イレ等の備蓄状況は。

③福祉施設等への簡易  
トイレの備蓄の支援が  
必要では。④トイレト  
レラーの導入は。

**答** ①導入を進める。  
②現在3002人分を  
備蓄しているが、目標  
数量に達していない。  
段階的に対応する。ま  
た、衛生環境に配慮し  
たトイレ設備の導入も  
検討する。③要望を聞  
くとともに支援を検討  
する。④研究している。

### 農業機械更新問題

**問** 農業者の多くが抱  
える喫緊の大きな課題  
である。補助制度や  
リース等の仕組みづく  
りが必要では。

**答** 「農業機械バンク  
制度」を考えている。

**問** 農業従事者の高齢  
化を考えれば、オペレ  
ーター付農業機械

リースサービスも検討  
すべきでは。

**答** 公社化を進める就  
農等支援センターの中  
で考える。

### 補聴器の助成制度

**問** 中等度難聴の高齢  
者に補聴器の助成制度  
拡充が必要である。

**答** 前向きに検討する。



馬屋下市線の通学路



原田素代議員

## コストコ誘致に関わる 長尾方式の真実は



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 市長の答弁で突然  
「山陽浄化センター」  
が出てきたが、この工  
事はいつ行ったのか。

**答** 詳しく知らない。  
**問** 市長は12月議会で  
私に「予算議決に加  
わった人が知らない  
のは驚きだ」と言った。  
私が調べた結果、平成  
16年に約4億円の予算  
が計上されている。こ  
れは山陽町時代。私は  
山陽町の議員になった  
ことはない。「長尾地  
区の山陽総合流通セン  
ターの事例でも幹線道  
路及び周辺の道路で同  
様の整備をしている」  
と答弁しているが、工  
事の時期や、いくら  
の予算かも知らないで、  
付け焼き刃のような答  
弁は品格を疑われる。

**答** 開発業者と赤磐市  
との覚書に基づく支払  
いをしてる。

**問** この道路は、民間  
業者のために作ったの  
ではなく、それより6  
年も前に市民の要望で  
作った市道であり市長  
は嘘を言っている。

**答** 私が自分から長尾  
方式と言ったことは一  
度もない。

**問** 私は覚書と予算書  
を開示請求したら、覚  
書は開示された。これ  
には道路のことは一切  
記載がない。予算書は  
不開示になった。理由  
は「不存在」で、そも  
そも予算書はない。

**答** 支払いの書類は保  
存年限が切れているか  
ら出ない。

**問** 埋蔵文化財の発掘  
調査もコストコのため  
の道路の下にあるのだ  
から8千数百万円はコ  
ストコの負担になる。

市道についても拡幅工  
事はコストコによる渋  
滞回避のためである以  
上コストコが負担すべ  
きだ。「これは歓迎の  
予算だ」と市長は言っ  
た。コストコのために  
公費を6億円つぎ込む  
のは認められない。

**答** 都市計画で定めた  
ものを整備するという  
中で、都市計画道路を  
実現する目的である。



埋蔵文化財発掘調査の様子



鼻岡美保議員

## 高校生の

## 通学費補助拡充を



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** 赤磐市には公立高校がない。山陽・熊山地域の実施予定はないのか。補助金申請が複雑で市税等の完納が条件。公共交通機関の利用促進と、子育て施策になる制度設計を。

**答** 交通渋滞解消や公共交通利用促進の有効策となるので、制度設計を見直す。

**問** 昨年4月に介護報酬が2〜3%引き下げられ、事業者が大変な打撃を受けているが、赤磐市の実情は。燃油代や処遇改善手当などの補助で介護事業所を支える必要があるのでは。赤磐市で必要な措置を取ってほしい。

**答** 倒産・休業した事

業所はないが、介護人材不足や物価高騰で苦慮している状況だ。訪問介護は必要不可欠なサービスなので、国へ要望していく。市の後方支援も必要と考える。吉井地域は社協が入っているので補助金を支出しているが、他にもどのような支援するか研究する。

## 桜が丘中央地域の再開

**問** 児童館を含む総合福祉施設を要望してきたが、市の構想は。大和ハウスの意向を考えて開発を進めていく話だが、市はもっと強い姿勢で対応すべきだ。児童館で子供たちが喜ぶ顔が見たい。交番ができることが決まっているが、交番以外が荒

地のままでは困る。

**答** 大和ハウスと協議を進め、魅力的で機能的なエリアにしたい。良好な住環境の確保で移住・定住の促進につなげたい。子供や保護者が交流し、市民の福祉に通じる用途を考えている。また、公共交通の接続の場として整備したい。



佐藤武文議員

## サッカー場の整備が

## 必要では



個人質問の映像を録画  
放映でご覧になれます。

**問** サッカー熱がますます高まり、指導者も父兄も一生懸命で、赤磐市からJリーガーが誕生するのも夢ではない。赤磐市の子どもたちのためにサッカー場の整備が必要ではないか。

**答** 場所も含め、将来に向けて子どもたちが羽ばたけるような環境をつくっていく。

**問** 赤磐市に斎場が必要

**問** 斎場の利用は増加傾向にあり、赤磐市に必要な施設では。

**答** 安定した市民生活を送るために、必要な施設であるが周辺地域の理解が大前提となり、コスト面を検討すべきと考える。

最終処分場がなぜできなかったのか

**問** 熊山地域の関係者に謝罪と今後の計画について、説明責任を果たすべきではないか。

**答** 廃棄物処理事業は大変重要で、できなかったことは市民に深くおわびする。

## 消防職員の増員を

**問** 南海トラフ巨大地震が80%以上の確率で発生すると報道がなされ、消防職員の役割が再認識されており、増員が必要ではないか。

**答** 職員の増員は重要なことと認識している。

## 中間管理機構の役割は

**問** 農地中間管理機構の役割は何であるか、目的は果た

なっているのか



耕作放棄地になっている水田

## 議会全員協議会

主な協議・報告事項

1月27日

- ・令和7年3月第1回赤磐市議会定例会について

2月4日

- ・議案の取り下げについて

2月25日

- ・日程追加について

## まちづくり調査特別委員会

主な協議・報告事項

1月16日

- ・事業の進捗状況について

2月26日

- ・事業の進捗状況について

## 議会ICT推進委員会

主な協議・報告事項

1月27日

- ・議会ICTについて
- ・議長から諮問があったオンライン会議の取り組みについて

# 委員新体制へ！

令和7年4月から「広報広聴委員会広報部会」が新たな体制で皆様のもとに赤磐市議会だよりをお届けします。



広報広聴委員会（広報部会委員）

# 新しい議会の構成

4月24日、25日に行われた臨時会で、議長・副議長の選挙があり議長に佐藤武文議員、副議長に永徳省二議員が選出されました。また各委員会の構成が変わりました。

| 総務常任委員会 |   |   |     |
|---------|---|---|-----|
| 委員長     | 安 | 藤 | 利 博 |
| 副委員長    | 松 | 田 | 勲   |
| 委員      | 実 | 盛 | 祥 五 |
|         | 大 | 口 | 浩 志 |
|         | 中 | 田 | 浩 二 |
|         | 田 | 村 | 勝   |

| 議会運営委員会 |   |   |     |
|---------|---|---|-----|
| 委員長     | 原 | 田 | 素 代 |
| 副委員長    | 大 | 口 | 浩 志 |
| 委員      | 金 | 谷 | 文 則 |
|         | 光 | 成 | 良 充 |
|         | 佐 | 藤 | 武   |
|         | 永 | 徳 | 省 二 |
|         | 安 | 藤 | 利 博 |

| 厚生文教常任委員会 |   |   |       |
|-----------|---|---|-------|
| 委員長       | 光 | 成 | 良 充   |
| 副委員長      | 佐 | 々 | 木 雄 司 |
| 委員        | 原 | 田 | 素 代   |
|           | 治 | 徳 | 義 明   |
|           | 永 | 徳 | 省 二   |
|           | 杉 | 野 | 千 秋   |

| 議会改革検討委員会 |          |   |     |
|-----------|----------|---|-----|
| 委員長       | 永        | 徳 | 省 二 |
| 副委員長      | 保        | 田 | 守   |
| 委員        | 議長を除く全議員 |   |     |

| 産業建設常任委員会 |   |   |     |
|-----------|---|---|-----|
| 委員長       | 金 | 谷 | 文 則 |
| 副委員長      | 行 | 本 | 大 輔 |
| 委員        | 佐 | 藤 | 武 文 |
|           | 保 | 田 | 守   |
|           | 佐 | 藤 | 武   |
|           | 横 | 山 | 裕 太 |

| 広報広聴委員会 |     |   |         |
|---------|-----|---|---------|
| 委員長     | 大   | 口 | 浩 志     |
| 副委員長    | 佐   | 藤 | 武       |
| 広報部会    | 部長  | 光 | 成 良 充   |
|         | 副部長 | 杉 | 野 千 秋   |
|         | 委員  | 大 | 口 浩 志   |
|         | 〃   | 中 | 田 浩 二   |
|         | 〃   | 行 | 本 大 輔   |
| 広聴部会    | 〃   | 横 | 山 裕 太   |
|         | 部長  | 原 | 田 素 代   |
|         | 副部長 | 田 | 村 勝     |
|         | 委員  | 保 | 田 守     |
|         | 〃   | 佐 | 々 木 雄 司 |
| 〃       | 〃   | 佐 | 藤 武     |
|         | 〃   | 安 | 藤 利 博   |

| 予算常任委員会 |          |   |     |
|---------|----------|---|-----|
| 委員長     | 永        | 徳 | 省 二 |
| 副委員長    | 原        | 田 | 素 代 |
| 委員      | 議長を除く全議員 |   |     |

| 議会ICT推進委員会 |   |   |     |
|------------|---|---|-----|
| 委員長        | 光 | 成 | 良 充 |
| 副委員長       | 横 | 山 | 裕 太 |
| 委員         | 松 | 田 | 勲   |
|            | 中 | 田 | 浩 二 |
|            | 田 | 村 | 勝   |

# 第6期 赤磐市議会議員

議長



議席番号18番  
佐藤 武文

副議長



議席番号7番  
永徳 省二



議席番号1番  
横山 裕太



議席番号2番  
行本 大輔



議席番号3番  
田村 勝



議席番号4番  
中田 浩二



議席番号5番  
杉野 千秋



議席番号6番  
安藤 利博



議席番号8番  
佐藤 武



議席番号9番  
佐々木 雄司



議席番号10番  
光成 良充



議席番号11番  
保田 守



議席番号12番  
大口 浩志



議席番号13番  
治徳 義明



議席番号14番  
原田 素代



議席番号15番  
金谷 文則



議席番号16番  
松田 勲



議席番号17番  
実盛 祥五

# 議長あいさつ

議長 佐藤 武文



この度の選挙により新たに18人の議員が市民の皆様から貴重な議席をいただきました。「選んで良かった」と感じていただける議会活動を全力で目指します。特に新人議員の視点を生かした活発な議

論と施策提案が行われることを期待しています。

改選に伴い新しい議会の構成が決まり、議長に選任いただきました。大変な重責であり、責任を強く感じています。市民の皆様代表としての責任の重さを自覚しつつ議会運営に取り組んでいきます。議員各位には、私の就任に際し「市民に信頼される議会づくり」を目指すことをお願いしました。

赤磐市は合併から20年を迎えました。市民の皆様が望んでおられる「まちづくり」が実現していると思えません。

こうした現状をしっかりと受け止め、議会の役割を一度見直し、「結果に繋がる議会活動」の実現に向けて実践的な活動を進めます。市民の皆様から信頼される議会活動を目指すために、毎月の議会全員協議会を継続的に招集し、議員間の情報交換や各委員会の進捗状況の確認、さらには執行部との施策調整など、透明性のある議論の場を積極的に設けます。

また、議会改革に資する多様な提案を尊重し、議員間で丁寧な調整を行い、「議会が変わった、良くなった」と実感していただける赤磐市議会を目指します。

ご不審なことがあれば、遠慮なくご指摘をお願いします。選任をいただいた18人の議員にどうかご期待ください。

## 編集後記

3月の市長・市議会議員選挙で、新しい市長が誕生し、議会にも5人の新人議員が加わるなど、新たな顔ぶれでスタートを切りました。投票率も前回より上がり、市民が市政の変化を望む気持ちが強く表れた選挙だったと感じています。

4月議会臨時会の佐藤武文議長のあいさつでは、「まだまだ市民から信頼される議会になっていない。信頼される議会づくりを目指したい」という言葉がありました。私たち議員一人一人も気を引き締め、6月議会に臨みます。

議会だよりを編集する広報部会は4人の新人議員が加わり、新体制になりました。市民の皆様は議会の動きをわかりやすく届け、市政に関心を持ってもらえるような紙面づくりに取り組んでいきます。

### 広報広聴委員(広報部会)

|        |       |
|--------|-------|
| ● 部会長  | 光成 良充 |
| ● 副部会長 | 杉野 千秋 |
| ● 委員   | 大口 浩志 |
| ● 委員   | 中田 浩二 |
| ● 委員   | 行本 大輔 |
| ● 委員   | 横山 裕太 |